

# 堺創志会 議会活動報告

## それ、野村に聞いてみよう。

【特別対談 吉川まもる (堺創志会 会長) X 野村ともあき】



**吉川:** 4年前に市長選に出て、議事を離れていたこの間、今の堺市政は外からどのように見えていましたか。

**野村:** 率直に言って、行政の役割を見失っていましたね。コロナ禍の市民生活を支えるために施策を拡充すべきところ、行政が真っ先に支出を絞りました。

**吉川:** 「堺市が何をしているかわからない」「存在感がない」との声が私たちにたくさん届きました。

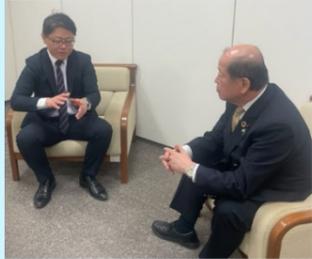
**野村:** 堺市は独自施策に乏しかったので当然です。

**吉川:** 市長は財政危機を理由にしていたが。

**野村:** 財政危機だなんてとんでもない。結果的に令和3年度決算は、かつて例のない規模の単年度黒字でした。これは言わば「使い残し」です。

**吉川:** 議会で積極的なコロナ支援を求めましたが、市長は財政に臆病になりすぎだと感じました。今の堺市には何が必要でしょうか？

**野村:** 元気と笑顔、そのための「公共の頼もしさ」ですね。全国で最悪のコロナの死者数を出した大阪は、保健衛生をはじめとする「公共」の弱さをさらけ出しました。コロナによる倒産件数も、全国ワースト1です。公共が頼りないと、企業も元気が出ないし、市民も楽しく暮らせません。



**吉川:** 公共の頼もしさ。まさにそうですね。そしてコロナ前に比べてまだまだ夜の町も元気ありませんから、楽しい飲み会なんか必要ですね(笑)。

**野村:** ですね(笑)。もちろん、そのための感染対策も含め。私も頑張ります。

**吉川:** 中長期的な課題は何でしょう？夢を持てる堺にするには何が必要だと思いますか？

**野村:** 子育て支援と教育、高齢者の健康増進に思い切って投資をすること。現役世代に堺を選んでもらい、ずっと住み続けてもらうこと。シンプルですが。

**吉川:** 真っ先に子育て施策を削り、おでかけ応援バスを削減しようとした永藤市政とは対照的ですね。

**野村:** それを進めるのに不可欠なのが「対話」です。市民との対話、職員との対話、議会との対話。これが今の堺市政には決定的に欠けています。

**吉川:** たしかにこの4年、市民不在で、現場感覚に欠く政策判断をいくつも見てきました。

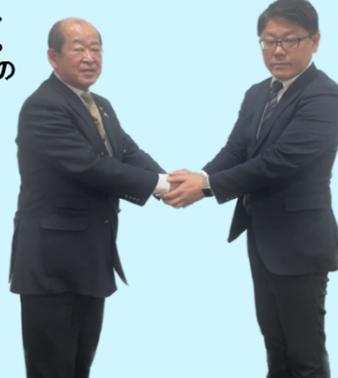
**野村:** 市の仕事は市民生活に直に関わるもので、それを動かすのは職員です。市長の仕事は市民や現場の声に耳を傾けること、職員をやる気にさせることです。

**吉川:** 市長選が近づいてきました。ぜひそんな市長が誕生してほしいものです。

**野村:** 堺は歴史的にも自治都市として対話を重んじ、堺らしい独自性を出しながら、存在感を発揮してきました。そんな堺を取り戻したいものです。

**吉川:** それ、野村にらせてみよう！そんな気になってきました。ぜひ、力を合わせて頑張りましょう。

ノムさん、みんな期待してるよ！



堺創志会は、無所属議員と立憲民主党議員とで作る、5人の議会内会派です。議員数では第四会派ながら、圧倒的な政策力で、堺市議会の議論をリードする存在だと自負しています。永藤市長の市政運営についても、真っ向から政策論争を挑み、厳しく問題点を指摘し、そして数多くの提案をしてきました。その議会力の根幹は、地域の皆様との対話です。堺創志会の各区のメンバーに、ぜひ皆様のお声をお聞かせください！

堺創志会 会長 吉川まもる



堺市議会議員(堺区)

### ふちがみ 猛志

- ① 2回
- ② 文教委員長等
- ③ 百術は一誠に如かず
- ④ 餃子
- ⑤ 子育て・教育

堺市議会議員(北区)

### 吉川まもる

- ① 6回
- ② 第81代堺市議会議長 総務財政委員長等
- ③ 継続は力なり
- ④ きんぴらごぼう
- ⑤ 地域まち創り

堺市議会議員(中区)

### 木畑ただし

- ① 3回
- ② 議会運営委員会副委員長 育ちと学び応援施策調査特別委員長等
- ③ 汗は自分で、手柄は人に
- ④ 麺類全般(特にせいろ蕎麦、担々麺、明太パスタ)
- ⑤ 教育・防災・中小企業振興・スナック

堺市議会議員(西区)

### 西てつし

- ① 3回
- ② 議会運営委員会副委員長 危機に強い安心社会実現調査特別委員長等
- ③ 意志あるところに道は開ける
- ④ 肉料理
- ⑤ 子育て支援・SDGs



堺市議会議員(南区)

### 小堀セイジ

- ① 4回
- ② 監査委員、文教委員長、育ちと応援施策調査特別委員長等
- ③ 先憂後楽
- ④ 魚料理(特にお寿司)
- ⑤ 全世代型社会保障、まちづくり、福祉

堺創志会顧問(前堺市議)

### 大毛十一郎

- ① 5回 ② 第79代堺市議会議長等
- ③ 他人が自分より優れていても恥ではない。しかし、去年の自分より今年の自分が優れていないということは、立派に恥である。 ④ 焼肉

堺創志会顧問(前堺市議)

### 米谷文克

- ① 11回(美原町議含む)
- ② 堺市議会副議長等
- ③ 実るほど頭を垂れる稲穂かな
- ④ 餃子

堺創志会特別会員(東区)

### 池田かずさ

- ① 1回...を目指して活動中!
- ② 行政書士 シンガーソングライター
- ③ 継続は力なり
- ④ 生ハム
- ⑤ まちづくり・教育・文化・動物行政

堺市議会をけん引する政策集団 堺創志会

## ～壮大なから騒ぎだった「財政危機宣言」～

**財政危機宣言!** (R3年2月)

なにに大阪府関連の予算は大判振る舞い! 大阪観光局に4000万円! 府の施設に2億円! etc

**子育て・教育施策を次々取りやめ!** (R3年度決算)

第二子保育料無償化、保育士の配置補助マイスタディ、日高少年自然の家、児童自立支援施設etc

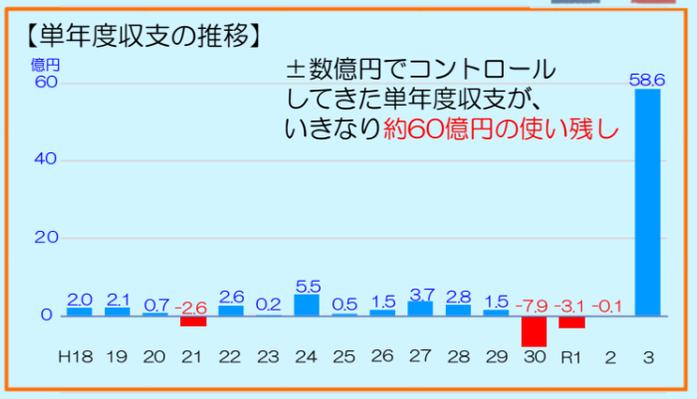
**財政構造は何も変わっていない** (R4年12月答弁)

**財政危機宣言解除!** (R5年1月)

なにに過去最大の使い残し! (R3年度決算)

って、どっちやねん!!

令和3年度決算は58.6億円の単年度黒字、過去に例を見ない規模でした。これは、一般企業であれば「よく稼いだ経営者」になるのですが、自治体はお金を蓄えるのが仕事ではなく、お預かりした税金を市民サービスとしてお返するのが仕事です。過剰な黒字(=使い残し)は、「やれるはずだった市民サービスをしなかった」という証です。「財政危機なんかじゃない。もっとコロナ対策を!」という堺創志会のかねてからの主張が正しかったと証明された形となりました。



堺創志会は 野村ともあきさんと連携し 堺を前に進めています

前堺市議会議員 **野村ともあき**

- ① 3回
- ② 歴史文化魅力発信調査特別委員長等
- ③ 愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ
- ④ 麺類、練り物
- ⑤ 堺市政全般!

# 未来志向

～誰ひとり取り残さない教育を～

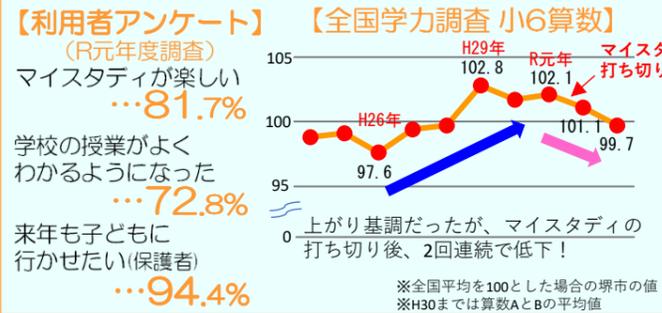
## 突然打ち切られたマイスタディ

勉強が苦手な子どものために、地域の方々が放課後に勉強を教えるマイスタディ事業(学びサポート)。10年間続き、堺市の学力向上、とりわけ学力低位層の底上げにつながっていたのに、予算削減を理由に突然打ち切られたのが2年前。私たちが当初から危惧したことが、現実になってしまいました。



## 危惧した通りの学力低下

今年度の全国学力学習状況調査において、本市小学生の学力低位層の子どもたちの数が、国語で約100人、算数で約500人も増加するという厳しい結果が出たのです。当初はICTを活用した学習支援で対応すると



説明していましたが、堺創志会の追及でいまだに全くできていないことが明らかになりました。

## 復活、もしくは代替策を

勉強が苦手な子どもたちが待っているから、一刻も早く対応を！私たちの強い要求に当局は「原因をしっかりと分析をして、今年度中に必ず対応する」と明言。マイスタディの復活、もしくは効果的な代替策が講じられるまで、議会で厳しく見守っていきます。教育は国家百年の計であり、未来への投資。今後も教育の充実に全力投球！

～不正を疑われない仕組みを～

## 入札の不正は起こりうる

公共工事の一般競争入札では、最低制限価格(ないし失格基準価格)を下回らない範囲で、最も安い金額で応札した業者が落札します。よって最低制限価格ギリギリで応札すればほぼ確実に落札できますが、その情報は極秘。しかし職員がそれを漏えいし、業者から見返りを得るといった不正が、全国では少なからず発生しています。

【入札の一例】

予定価格 1億円	予算上の上限価格。 公開情報。
A社 9500万円	落札
B社 8500万円	
C社 8100万円	
最低制限価格 8000万円	下回ると失格。 非公開情報。
D社 7900万円	失格

(「安かろう悪かろう」と判断)

## 不正対策としてのランダム係数

大阪府や大阪市は不正対策にランダム係数を導入しています。開札時に、機械が無作為に決めた±0.5%程度の係数によって、最低制限価格を変動させる仕組みです。担当職員でも、最終的な最低制限価格を

# 公正公平

事前を知ることができず、不正対策となるのです。

## 指摘された情報漏えいの疑い

堺市の公共工事で、例えば最低制限価格が5億円超の大型案件なのに、落札額がわずか1000円しか変わらないなど、極めて精度の高い入札が近年相次ぎました。これについて、当局は一部事業者から情報漏えいを疑う声があったことは認めましたが、漏えい自体は否定。真実はともかく、税金を使った事業で不正を疑われたこと自体が残念です。疑われない仕組みとしてランダム係数の導入を求めましたが、当局は消極的姿勢に終始。実は業界団体も導入を求めており、これは業界団体にも不正を疑う声があるからでしょう。導入を否定する理由がどこにあるのでしょうか？堺創志会は公正な入札制度の導入を目指します。

他にも・・・多子世帯の保育料無償化 / スクールソーシャルワーカー等の学校専門職の増員 / いじめ不登校対策の強化 / 泉北高速鉄道の学割補助の復活 / 保育士の加配と処遇改善 / 学校の校務のICT化 / 少人数学級推進 / プラスチックの再資源化の推進 / ゼロエネルギーハウスの普及促進 / 子ども権利条例の制定 等々にも取り組んでいます。

堺創志会  
～政策提言～  
未来志向 公正公平  
生活目線 地域密着

他にも・・・大阪府への言いなり支出をストップ / 公共工事の地産地消 / 法令違反事業者の公共事業からの排除 / 公文書の適正管理のための公文書館設置 / デジタルディバイド解消 / 効果的施策実施のためのビッグデータ活用 / 外郭団体の不正防止 / まちづくりへの市民の参画 / 国へ大阪カジノの厳格審査の要請 等々にも取り組んでいます。

# 生活目線

## ～議会が阻止したおでかけ応援削減～

## 拡充を約束したはずなのに

65才以上の高齢者が100円でバス等に乗れる、おでかけ応援バス。市民に長く愛されてきた、堺市独自の取り組みです。永藤市長も市長選挙でその「拡充」を訴えていたはずですが…。



## 高齢者の元気はまちの元気

永藤市長はその後削減を出し直すなど、削減に執着しましたが、それも議会が否決し、良識を示しました。おでかけ応援バスの経済波及効果は予算の約9倍の50億円。高齢者が元気で居続けられることが、中長期的に見て、現役世代も含め、どれほどまち全体にプラスの効果をもたらすことでしょうか。堺創志会は長期的なまちづくりの視点を持ちながら、身近な市民の暮らしを守っていきます。



## ～深井を交通の中心に～

## 改善すべき東西交通とは？

堺市の長年の課題「東西交通」。永藤市長はその改善に、堺市が10億円超を負担し、堺駅～堺東駅間に自動運転バスを走らせる方針。しかし、そこにはすでにシャトルバスがあり、それが置き換わるだけ。ならば、都市計画道路「南花田鳳西町線」の未整備区間を1日も早く整備し、たとえばそこにBRTを走らせる方が、市全体の東西交通改善、そして中区の交通利便性向上に、よほど貢献するでしょう。BRTとは、



# 地域密着

「Bus Rapid Transit (バス高速輸送システム)」の略で、連節バスやバス専用レーンの設置により、路面電車と同等の輸送力・定時性・速達性を確保したバスをベースとした交通システムです。



## 粘り強く、未来を見据え

この路線が実現すれば、アリオ鳳から新たに賑わい拠点となる深井駅周辺を経て大泉緑地へとつながる、新たな東西交通となります。これと既存の鉄道路線駅との接続が実現すれば堺市内が環状に結ばれる形となります。道路整備と並行するため、かなり長期的な視野に立った事業とはなりますが、この先50年の堺の交通ネットワークを見据え、これからも粘り強く提案を続けていきます。

他にも・・・コロナ再拡大に備えた保健衛生体制の強化 / コロナで打撃を受けた中小零細企業の事業支援 / 障がい者雇用の推進 / 親なき後の障がい者の暮らしの場の整備 / ロスジェネ世代の雇用確保 / 保健師の増員と地域福祉活動の拡充 / 中高年の予防医療の充実 / 男性の育休推進等の働き方改革 / 空き家や不耕作農地対策 / 買い物難民対策 / シェアサイクルのポート増設 等々にも取り組んでいます。

他にも・・・深井駅周辺の再開発 / 南花田鳳西町線の早期開通と沿線のまちづくり / 津久野駅周辺の再開発 / 泉北ニュータウンの医療・福祉と連携した健康長寿のまちづくり / ときはま線・富田林線・310号線・ららぽーと美原周辺の渋滞対策 / 臨海地域の災害避難路の確保 / 郊外のバス路線の維持 / 堺区図書館の誘致 / ドッグランの整備 / コロナ禍の自治会支援 / 大規模小学校の過密緩和 等々にも取り組んでいます。